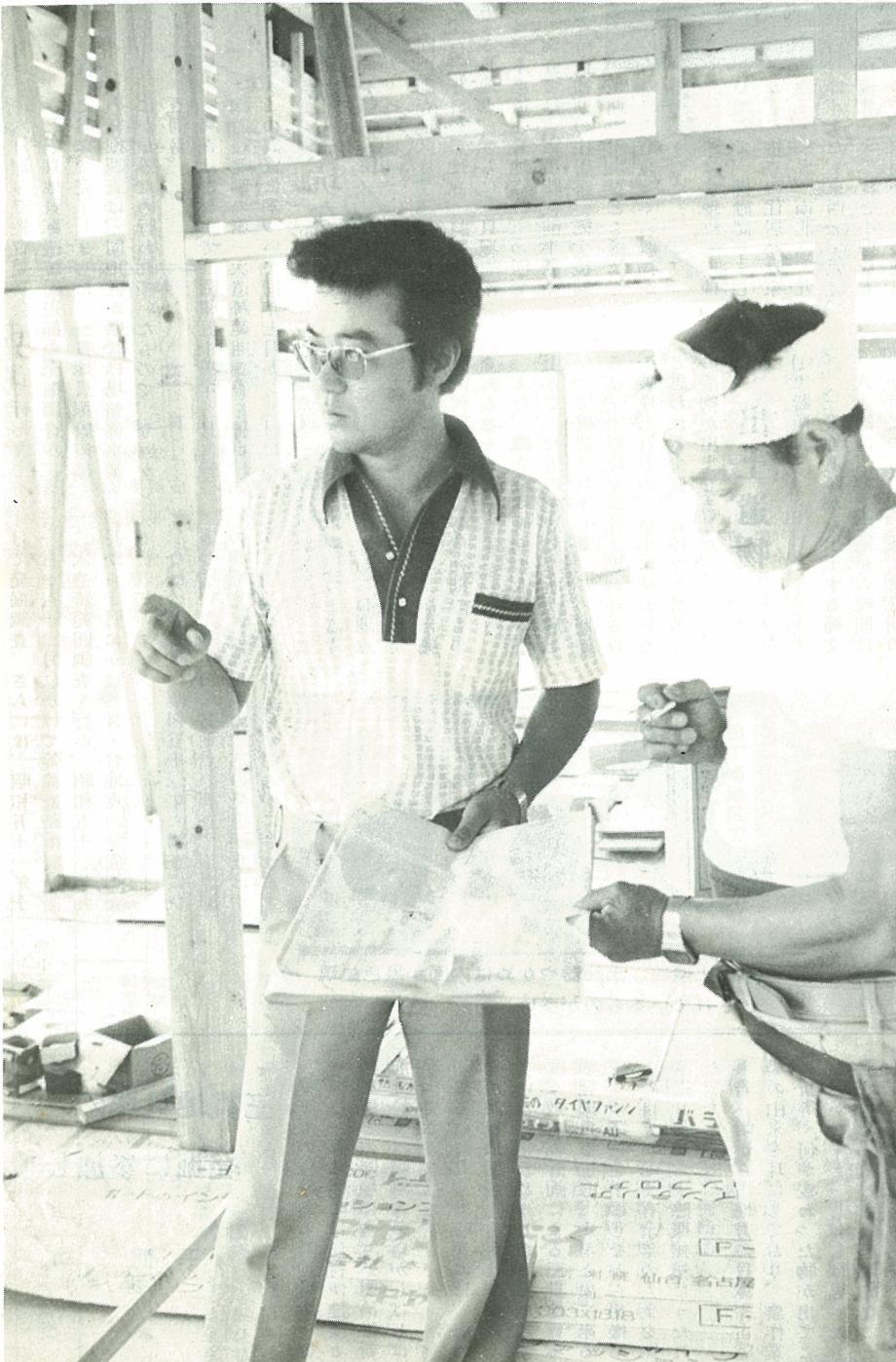


広報 しんち

8月1日現在 ()内は前月比	
男	1,974世帯 (+2)
女	4,322人 (+10)
合計	4,474人 (+6)
合計	8,796人 (+16)

102号

54/9



若者たちは 今…⑧

斉藤秀樹さん
(中里)

斉藤秀樹さん——高校を卒業すると同時に父の経営する建築請負業を手伝い、建主と大工との間にたって、請負主としての仕事をきりまわしている。

「手伝い始めた頃は若くて何もわからず、つき合う人も年輩の人達ということでつらい面もあったけど……。その時は、人とつき合うことのむずかしさをつくづく感じましたよ。それに、人を使っている以上、その人達より働かなければならなかっただですからね。」

昭和51年には2級建築士の資格を取得。直接手は下さないものの、資材や人夫の手配を通して1軒の家を仕上げ、建主から喜んでもらえた時は、この仕事をやっていてよかったと思うという。「今のところは住宅だけだけど、これからはもう少し大きな仕事をやってみたい。それにしても、数多く仕事をして、それを認めてもらえるようがんばりたい。」と今後の抱負を語る。

「自分の性格ですか。ちょっとおとなしすぎで、人が良すぎるところじゃないですかね。人が良すぎるのも良し悪しだと思うんだ。俺の仕事なんかは、ある程度クールにやっていかなければならないと思っているんだけど、頼まれると断れないんだよね、俺は。」

今年の12月、27歳になる。目下、花嫁募集中である。



▲地震のときははたなの上の上の物も危険
(昨年6月の宮城県沖地震。マグニチュード7.4)

月現在で六百八十四人、人口の七・八%を占めています。
ひと口にお年寄りと説いても、家庭環境、健康状態などによつて生き方はさまざま、ここに登場するお年寄り(ア)は元気ハツラツ。手習い・子供たちの指導・山登りとマイペースの人生を黙々歩んでいます。

◎木造家屋の中にいたら

たとえ一階はつぶれても、二階はまだ安全。あわてて階段をかけたり、窓から飛び出すのは危険です。屋内で安全なのは柱の多い場所で、トイレの中や風呂場。揺れが激しくても、すぐは外に

襲つてくる地震の恐ろしさは昔も今も変わりありません。わたしたちは、地震の発生そのものを防ぐことはできませんが、被害を最小限にいくとめることはできます。そのためには、地震に対する正しい知識を持つて、日ごろから、いざというときの物心両面での準備を怠らないようにすることです。

九月一日は「防災の日」です。この機会に、あなた自身の防災対策を「再点検」してみましょう。

◎街の中を通行中のとき

看板や窓ガラスの破片、外装用のタイル、ネオンサインなどの落下物から身を守るために、コート、カワラや看板、ガラスなどが落ちてきて思わずケガをします。逃げ出すときは、きちんと火の始末をしましょう。

子供とお年寄りを守ろう

秋の全国交通安全運動

今年も九月二十一日から三十日までの十日間、秋の全国交通安全運動が繰り広げられます。今年に入つて全国で交通事故で亡くなつた方は、六月末日で三千九百三十九人。昨年の同じ時期に比べて、二百十二人(五・一%)減っていますが、交通事故の発生件数および負傷者の数は、逆に増えているのが特徴です。

また、亡くなった方では、相変わらず子供とお年寄りが多く、原動機付き自転車の事故による死者も含めて、道路上で「弱い立場」にある人々の犠牲が目立っています。

こうした死亡事故の原因をドライバーの側から見ますと「スピード」

違反」をトップに「わき見運転」「酒酔い運転」と続き、この傾向はここ数年まったく変わっていません。このようなスピードへの慣れや、ちょっとした油断などドライバーとしての基本的事柄をきちんと実践してこそ、「事故のない明るい社会」への第一歩といえるでしょう。

このような背景から、今年は、

▽子供と老人の交通事故防止

▽自転車および原動機付き自転車の安全利用促進

▽安全運転の確保とシートベルト着用の推進

の三項目を重点テーマに、国民総ぐるみで秋の全国交通安全運動が行われます。

そのあと、ただのぬるま湯だけ

で仕上げぶきをします。次にその

タオルを四つ折りにし、光る部分

の上においてアイロンをかけます。

そのとき、もうもうと蒸気が立て

ば大成功、テガテカはとれます。

最後に、ズボン全体にアイロンをかけて仕上げます。新品同様、ハイ、できあがります。

ズボンのテカテカを直す 小さじ1ぱいの アンモニアが決め手

地震からあなたを守る ふだんの備えと心構え

「地震、雷、火事、おやじ」——ある日、突然、何の予告もなしに襲つてくる地震の恐ろしさは昔も今も変わりありません。わたしたちは、地震の発生そのものを防ぐことはできませんが、被害を最小限にいくとめることはできます。そのためには、地震に対する正しい知識を持つて、日ごろから、いざというときの物心両面での準備を怠らないようにすることです。

九月一日は「防災の日」です。この機会に、あなた自身の防災対策を「再点検」してみましょう。



くの丈夫な建物や空き地に避難しましよう。

道路は波打ち、パンクしたよう

にハンドルをとられます。ハンドルを両手でしつかり押え、周囲に

車を運転していたら

適切な行動をとりましょう。

カーラジオで地震情報を聞き、

列車や電車は、強い地震を感じ置いて避難するときは、キーをしましたまま、ドアはロックしないでおくこと。

電車やバスの中において

革や柱、いすなどにしつかりつかり、落ち着いて乗務員の指示に従いましょう。

車を運転しているときは、キーをしましたまま、ドアはロックしないでおくこと。

車を運転しているときは、キーをしましたまま、ドアはロックしないでおくこと。</p

期限切れ後継者に加入の道

今年限りの措置

早めに申し込み手続きを

農業者年金の給付を受けるためには、加入してから保険料を一定期間以上納めることが必要で、このため加入期限というものがあります。これまでに加入期限が過ぎてしまって、現在では加入できなくなっている後継者が相当おられると見込まれています。

そこで、このような「後継者」が一定の要件に該当する場合には、加入の申し出をして年金に結びつけることができるよう、救いの道が開かれました。その概要と手続きなどは次のとおりです。

救済される

後継者の要件

この救済措置により加入の申し出ができるのは、次の一から五までに掲げる要件のすべてに該当する人です。

1、大正八年七月三日から昭和十五年一月一日までの間に生まれたこと。

2、一歳の誕生日が、夏空の下、熱戦を展開しました。

3、各自が、この救済措置による加入を申し出る日に、次の要件を満たしていたこと。

(ア) 六十歳未満であること。

(イ) 二歳の誕生日が、夏空の下、熱戦を展開しました。

4、支給対象者

(ア) 戰没者の遺族で、同一の戦没者等に関する昭和50年4月1日から昭和54年3月31日までの間に、公務扶助料等を受給している者がいなくなったかた。

(イ) 戰没者が旧陸海軍部内の判任文官等で、この戦没者による公務扶助料を受給する者がいなくなったかた。

5、特別弔慰金の額等

額面12万円、6年償還の記名国債で交付します。発行日は昭和54年10月1日で、第1回の償還は昭和55年6月15日です。

3、経過措置

前回の特別給付金支給対象者については、額面20万円の国債が支給されますので、申請もろのかたは早急に申請してください。

申請手続き等くわしくは、役場住民課にお問い合わせください。

表 1

区	分	基準日
大正八年七月三日	昭和四十九年七月一日	昭和四十九年七月一日
大正九年一月二日	昭和五十一年一月一日	昭和五十一年一月一日
昭和二十年一月二日	昭和五十二年一月一日	昭和五十二年一月一日
昭和二十一年一月二日	昭和五十三年一月一日	昭和五十三年一月一日
昭和二十四年一月一日生まれ	昭和五十四年一月一日	昭和五十四年一月一日
昭和二十五年一月二日	昭和五十五年一月一日	昭和五十五年一月一日
昭和二十六年一月一日生まれ	昭和五十六年一月一日	昭和五十六年一月一日
昭和二十七年一月一日生まれ	昭和五十七年一月一日	昭和五十七年一月一日
昭和二十八年一月一日生まれ	昭和五十八年一月一日	昭和五十八年一月一日
昭和二十九年一月一日生まれ	昭和五十九年一月一日	昭和五十九年一月一日
昭和三十一年一月一日生まれ	昭和六十一年一月一日	昭和六十一年一月一日
昭和三十二年一月一日生まれ	昭和六十二年一月一日	昭和六十二年一月一日
昭和三十三年一月一日生まれ	昭和六十三年一月一日	昭和六十三年一月一日
昭和三四年一月一日生まれ	昭和六四年一月一日	昭和六四年一月一日
昭和三五年一月一日生まれ	昭和六五年一月一日	昭和六五年一月一日
昭和三六年一月一日生まれ	昭和六六年一月一日	昭和六六年一月一日
昭和三七年一月一日生まれ	昭和六七年一月一日	昭和六七年一月一日
昭和三八年一月一日生まれ	昭和六八年一月一日	昭和六八年一月一日
昭和三九年一月一日生まれ	昭和六九年一月一日	昭和六九年一月一日
昭和四十一年一月一日生まれ	昭和七十一年一月一日	昭和七十一年一月一日
昭和四十二年一月一日生まれ	昭和七十二年一月一日	昭和七十二年一月一日
昭和四十三年一月一日生まれ	昭和七十三年一月一日	昭和七十三年一月一日
昭和四四年一月一日生まれ	昭和七四年一月一日	昭和七四年一月一日
昭和四五年一月一日生まれ	昭和七五年一月一日	昭和七五年一月一日
昭和四六年一月一日生まれ	昭和七六年一月一日	昭和七六年一月一日
昭和四七年一月一日生まれ	昭和七七年一月一日	昭和七七年一月一日
昭和四八年一月一日生まれ	昭和七八年一月一日	昭和七八年一月一日
昭和四九年一月一日生まれ	昭和七九年一月一日	昭和七九年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八十一年一月一日	昭和八十一年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八一年一月一日	昭和八一年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八二年一月一日	昭和八二年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八三年一月一日	昭和八三年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八四年一月一日	昭和八四年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八五年一月一日	昭和八五年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八六年一月一日	昭和八六年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八七年一月一日	昭和八七年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八八年一月一日	昭和八八年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和八九年一月一日	昭和八九年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九〇年一月一日	昭和九〇年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九一年一月一日	昭和九一年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九二年一月一日	昭和九二年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九三年一月一日	昭和九三年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九四年一月一日	昭和九四年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九五年一月一日	昭和九五年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九六年一月一日	昭和九六年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九七年一月一日	昭和九七年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九八年一月一日	昭和九八年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和九九年一月一日	昭和九九年一月一日
昭和五十一年一月一日生まれ	昭和二〇〇〇年一月一日	昭和二〇〇〇年一月一日

か調べます。
そこでこれに該当する場合に、自分は、基準日まで引き続き三十年以上農業に従事していたかどうか。これにも該当していること。
(ア) 二歳の誕生日が、夏空の下、熱戦を展開しました。

加入手続等くわしくは、農業委員会又は農協にお問い合わせください。
納めなければなりません。
納付金」を納めることができます。
この特例納付金は、昭和五十四年七月一日から五十五年十二月三十一日までの間に、農協の窓口で納めなければなりません。

加入手続等くわしくは、農業委員会又は農協にお問い合わせください。
納めなければなりません。
納付金」を納めることができます。
この特例納付金は、昭和五十四年七月一日から五十五年十二月三十一日までの間に、農協の窓口で納めなければなりません。

加入申し出ができる期間

前記の要件に該当する後継者が、この救済措置により加入するには、今年の十二月三十一日までに、農協の窓口で、加入の申し出をする必要があります。

加入の申し出をした後継者は、一ヶ月につき三千六百円の「特例納付金」を納めなければなりません。この制度は任意加入の被保険者には適用されません。

今が加入のチャンスです

特例納付の活用を

国民年金の特例納付の受付けは、来年の六月に打ち切られます。
この制度は、一時的の違いや、忙しさにまぎれたり、経済上の理由などから、特定農業者が加入の申し出をしています。
特定農業者が耕作していることを、特定農業者名義の農地等の二分の一をこえる部分について、自分が権利をもち農業経営主となつて指定された人(一人に限ります)であること。
特定農業者が加入の申し出をしています。

加入手続等くわしくは、農業委員会又は農協にお問い合わせください。

夏空の下、熱戦を開催する各種スポーツ大会結果

県中学校総合体育大会

バレーボール、野球、水泳など各種のスポーツ大会が、七月末から八月にかけて行われました。

大会の結果は次のとおりです。

家庭バレー大会

英(駒ヶ嶺) ● 女子25m平泳ぎ
一位荒照美(駒ヶ嶺)
一六年生
男子25mクロール
一位木村秀

新地相馬地区小学校水泳大会

男子25mクロール
三位石田雅
英(駒ヶ嶺) ● 女子25m平泳ぎ
一位荒照美(駒ヶ嶺)
一六年生
男子25mクロール
一位木村秀

馬地区水泳大会

男子25mクロール
一位徳(駒ヶ嶺) ● 男子25m平泳ぎ
二位菅野忠晴(新地) ● 女子25m平泳ぎ
三位黒沢百合(新地)

町民野球大会

同五十嵐由美子(駒ヶ嶺) ● 男子100mリレー
50mクロール
男子50m平泳ぎ
三位鹿又勇(新地) ● 男子50m平泳ぎ
二位島昭彦(新地) ● 男子50m平泳ぎ
三位新地(宍戸重之、目黒邦彦、寺島武志) ● 男子50m平泳ぎ
名取友昭

新地歌壇

草刈を終えし川面は水澄みて
小鮎の影の清しく見ゆる
予ら孫ら波にたはむる久びさに
釣師の浜の樂しみとき
軒下の巣に育ちたるつばくらの
巣立たん朝の姿待たるる
前に子が好みたる凍みもちを
墓に供へ老いしその母
七夕の雲の切れ間に天の川
仰ぐ我かも一生を思ふ
岡元三郎

新地俳壇

花水をたしかめ巡る草のつゆ
父母眠る山墓前に盆火焚く
木もれ日のり糸どんは尾瀬の道
釣人の上を去来のおにやんま
松が枝にやどる朝つゆたまなして
風のそよぎにひかりつつ散る
ひぐらしの声峠にこだます
うねりたつ水面に明けのひかりつ
めぐる海鳥羽うちせわしも
そばたちて青き石壁逆波の
たつ石狩の川ぞひをゆく
佐藤一江

新地歌壇

はらはらと日照雨降るなか透じみゆ
とうきび畑の光る葉の群れ
朝霧のこめし木群に湧きあがる
ひぐらしの声峠にこだます
太田智恵子

新地俳壇

三宅みさの
斎藤清子



スポーツ少年団野球部が合宿

スポーツ少年団野球部の合宿が、8月17、18日、相馬市磯部の「海浜青年の家」で行われました。

この合宿は、友情の輪をさらに広げることを目的に今年はじめて開いたもので、新地、福島の部員38名が参加しました。

合宿では、併設されたグラウンドで強化練習、夜にはキャンプファイヤーを行うなど、楽しい日々を過ごしていました。

キャンプファイヤーを楽しむ団員たち

● 男子25mクロール
英(駒ヶ嶺) ● 女子25m平泳ぎ
一位荒照美(駒ヶ嶺)
一六年生
男子25mクロール
一位木村秀

● 男子50m平泳ぎ
二位菅野忠晴(新地) ● 女子25m平泳ぎ
三位黒沢百合(新地)
同五十嵐由美子(駒ヶ嶺) ● 男子100mリレー
50mクロール
男子50m平泳ぎ
三位鹿又勇(新地) ● 男子50m平泳ぎ
二位島昭彦(新地) ● 男子50m平泳ぎ
三位新地(宍戸重之、目黒邦彦、寺島武志) ● 男子50m平泳ぎ
名取友昭

● 男子100mリレー
ナ尔斯16—4カーペンターズ
球友9—5タイガース
カージュ
エニックス
クス5—4ホワイトスターズ
水戸幸作
汗にまみれ塩を舐めつひもすがら
勝を信じて塩掘りたりき
花にひそめる蝶の動き

花にひそめる蝶の動き
若竹のこぼれ陽さやに大聖寺
辻麗ら

